ヤングケアラーとその家族に対する包括的支援推進自治体モデル事業 2023年度取り組み状況報告書における数値訂正について

注釈:本資料は、ヤングケアラーとその家族に対する包括的支援推進自治体モデル事業に係る 2024年度調査において再確認された2023年度実績値を反映した訂正一覧である。報告書本文 中の記述・分析の趣旨に変更はないもの。

一2023年度報告書訂正箇所一覧一

(2024年度調査結果に基づく訂正) 発行:日本財団 作成日:令和7年11月

※下線部が訂正箇所

2 【長崎県大村市】取り組み状況調査

P.23

- (1)支援計画等の作成状況
- 1 ヤングケアラー児童に関する計画の作成状況
- 2023 年度において、ヤングケアラー児童に関する支援計画を作成した件数は 10 件/18 件となっている。

図表 2-13 ヤングケアラー児童に関する計画の作成件数

ヤングケアラー児童に関する計画	モデル事業前 (R4.1~R4.12)	2023年度作成件 数 (R5.4~R6.3)
支援計画	2件/4件	10件/18件 (訂正前:10件/17 件)
サポートプラン		0件

P.24

(3)児童・家族の意思確認状況

ヤングケアラーとして要対協に登録された児童、及びその家族との意思の確認状況等について、児童、家族共に、「多くのケースでできている(概ね 8 割以上)」となっている。 支援対象となる児童と話ができているかについては、ヤングケアラーと判断した児童 18 人のうち 15 人と話ができている。

支援対象となる児童の家族と話ができているかについても、ヤングケアラーと判断した 児童 18 人のうち 15 人の児童家族と話ができている。

図表 2-15 児童・家族の意思確認状況

		モデル事業前 (R4.1~12)	2023年度 (R5.4~R6.3)
児童	置と話ができているか		多くのケースでで きている(概ね8割 以上)
	要対協登録児童数 のうち、話ができて いる支援対象児童 数※	2人/4人	15人 <u>/18人</u> (訂正前:10件/17 件)
家族	戻と話ができているか		多くのケースでで きている(概ね8割 以上)
	要対協登録児童数のうち、話ができて	1人/4人	15人/18人

いる支援対象家族	(訂正前:10件/17
数	件))

※こども家庭課に加え、学校など児童が話しやすい大人が所属する機関による聴取数

4【東京都府中市】取り組み状況調査

P.44

(2)相談窓口の設置・運営状況

相談窓口は、2名(常動 1名、非常動 1名)のヤングケアラーコーディネーターで運営。 2023年度に寄せられた相談件数は 9 件、うちヤングケアラー関連の相談は 7 件であった。

電話相談は 4 件、SNS 相談1件、また 2 件は要対協ケースであったため、市子育て世代包括支援センターからの依頼であった。

なお、以下に示す府中市の相談件数については、2024年度調査での集計方法の見直し(18歳未満・18~39歳の区分整理)に基づき、2023年度値を修正・更新したものである。

図表 4-5 相談窓口への相談件数

		2023年度 (R5.4~R6.3)
相談窓	窓口への相談件数	9件
	うち、ヤングケアラー関連の相談(※)	7件(5件) (訂正前:4件)

※18歳~39歳の若者を含む相談件数、括弧内は対象者が18歳未満の件数。図表4-6も同様。

図表 4-6 ヤングケアラー関連の相談窓口、相談ルートごとの内訳

窓口の種類	内訳	2023年度 (R5.4~R6.3)
	電話	4件(2件)
	SNS	1件(1件)
	対面	0件(0件)
	その他(具体的に) (要対協ケースのため、市子 育て世代包括支援センター からの依頼)	<u>2件(2件)</u> (訂正前:4件)
相談ルート	本人	1件(1件)
	家族·親族	1件(0件) (訂正前:0件)
	児童福祉関係機関	2件(2件) (訂正前:4件)
	福祉関係機関(生活福祉· 障害福祉·高齢者福祉)	<u>0件(0件)</u> (訂正前:1件)
	保健医療関係機関	1件(0件)
	地域の施設・地域関係者等	1件(1件)

その他(具体的に)	1件(1件)
(学校·SSWから)	

※(2)相談窓口の設置・運営状況 および図表4-5、4-6 について

(一社)ケアラーワークスと府中市子育て世代包括支援センター「みらい」は、両機関の窓口情報を併記し、連携して支援を行っているため、両機関に寄せられた相談件数を掲載。

以上